

(単位：千円)

決算書 (P186～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	福祉施設建設事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
67,314	48,856	12,879	13,114			22,863
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
15,122	3,336		3,289	46	1	

## 【目的】

高齢者福祉施設の建設費の一部助成などを行い、高齢者福祉サービスに必要な施設整備を促進する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

## 1 特別養護老人ホーム等の建設資金借入の償還金に係る負担金及び補助金 22,452

施設の名 称	金 額	交付年度	
		開 始	終 了
デイサービスセンター大潟	2,400	H17	R6
グループホーム大潟	1,759	H17	R6
小計(負担金交付施設)	4,159	—	—
特別養護老人ホーム和久楽	18,293	H14	R3
小計(補助金交付施設)	18,293	—	—
合 計	22,452	—	—

## 2 施設の維持管理に係る経費 390

- ・旧板倉のびやかハウス地下タンク点検業務委託ほか (139)
- ・柿崎第2 デイサービスセンター周辺用地の草刈業務委託 (251)

決算書 (P186～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	福祉施設建設事業		

3 新潟県介護基盤整備事業費補助金 (県 10/10) 7,464

事業名	施設種別	施設名称 (事業者)	金額
地域密着型施設整備等助成事業	小規模多機能型居宅介護	上吉野白鳥の里 (社会福祉法人上越あたご福祉会)	4,947
施設開設準備経費等支援事業	小規模多機能型居宅介護	上吉野白鳥の里 (社会福祉法人上越あたご福祉会)	2,517

・令和3年度9月補正 (県 10/10) 3,780

事業名	施設種別	施設名称 (事業者)	金額
ユニット化改修等支援事業	認知症対応型共同生活介護	グループホーム癒しの家 (有限会社藤田企画)	3,780

4 新潟県高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症対策施設整備事業費補助金

・令和3年度12月補正 (県 10/10) 1,870

事業名	施設種別	施設名称 (事業者)	金額
介護施設等における感染拡大防止のためのゾーニング環境等の整備に係る経費支援事業	認知症対応型共同生活介護	グループホームえがお (株式会社スマイル)	1,870

5 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金

・令和3年度9月補正 (国 10/10) 12,879

事業名	施設種別	施設名称 (事業者)	金額
認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能あったかほーむ春日 (エフビー介護サービス株式会社)	5,670
認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能あったかほーむ柿崎 (エフビー介護サービス株式会社)	5,669
認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	サテライト型特別養護老人ホームほくら園ユニット (社会福祉法人くびき社会事業協会)	1,540

**【事業の成果】**

国の交付金や県の補助金を活用し、対象の事業所に補助金を交付した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

介護保険事業所に対し最新の助成制度を確実に周知する。

決算書 (P186～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	福祉施設建設事業		

**【執行残額について】**

○事業未実施

- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の申請をしたものの内示に至らなかったことなどによる残 3,289

○入札差金

- ・施設管理委託料 1
- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 45

○その他

- ・消耗品費が見込みを下回ったことによる残 1

(単位：千円)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	五智養護老人ホーム管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
234,408	233,067				108,477 (分担金及び負担金)	124,590
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
594	747			7	740	

## 【目的】

家庭環境や経済的な理由により、在宅での生活が困難な高齢者の安定した生活を確保するとともに、疾病やその他の理由により、一時的に養護する必要がある高齢者を短期に受け入れ、入所者の生活の安定を図る。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## 1 措置入所 229,913

## ○実施内容、これまでの経過等

家庭環境や経済的な理由により、在宅での生活が困難な高齢者の安定した生活を確保するため、入所措置を行うとともに、施設の管理運営を行った。

## &lt;施設の入所状況&gt;

令和4年3月31日現在(単位：人)

区分	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳～ 89歳	90歳 以上	合計 入所者/定員
上越市	0	14	44	33	12	103/106
糸魚川市	0	0	12	5	1	18/25
妙高市	1	1	3	8	0	13/19
合計	1	15	59	46	13	134/150

※年平均入所者数(1月当たり)：134人

## 2 短期入所 3,154

## ○実施内容、これまでの経過等

養護者の疾病、その他の理由により、一時的に養護する必要がある高齢者を受け入れ、養護者の負担軽減と入所者の生活の安定を図る。

(1) 対象者 おおむね65歳以上で、養護者の疾病、その他の理由により、居宅において養護を受けることが一時的に困難になった人

(2) 入所定員 5人

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	五智養護老人ホーム管理運営費		

(3) 利用実績

区 分	延べ入所者数 (人)			延べ利用日数 (日)			委託料		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
上越市	51	54	40	534	653	518	2,035	2,488	1,974
糸魚川市	9	4	10	134	31	170	511	118	648
妙高市	0	6	9	0	38	140	0	145	533

3 修繕等の実施状況

区 分	内 容	実 績
修繕料	ガスメーター器廻り配管修繕等	5,413
備品購入費	食器消毒保管庫、自動給茶機	781

4 指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者名	社会福祉法人えちご府中会
現行指定期間	令和元年度～令和5年度

<指定管理者制度導入施設における市の収支状況>

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			予 算	実 績
①収入	110,183	101,348	108,907	108,477
②支出	管理運営業務委託料	233,795	221,792	227,344
	修繕料	3,236	3,422	5,420
	その他	4,550	843	1,050
	合 計	241,581	226,057	233,814
③公費投入額 (②-①)	131,398	124,709	124,907	124,590
④入所者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	938,557	937,662	932,142	929,776

※管理運営業務委託料は短期入所(5床分)を含む。

※入所者数は毎月初日現在の入所者数の年平均入所者数による。

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	五智養護老人ホーム管理運営費		

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	介護保険収入	55,571	53,211	55,505	50,553
	管理運営業務委託料	233,795	221,792	229,212	226,605
	その他	603	5,961	408	885
②支出		296,365	286,603	296,933	285,586
差引 (①-②)		△6,396	△5,639	△11,808	△7,543

#### 【事業の成果】

地域包括支援センターやケアマネジャーとの連携を図り、養護が必要な高齢者の入所措置を行うとともに、居宅において介護を受けることが困難になった人の短期入所を受け入れた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地域包括支援センター等との連携により入所対象者を把握し、必要な人に対し速やかに入所措置等を行う。

#### 【執行残額について】

○入札差金

・修繕料 7

○その他

・短期入所者数が見込みを下回ったこと等による委託料の残 740

(単位：千円)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人保護措置費等		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
120,337	118,593				2,746 (負担金、財産収入)	115,847
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,744			844	900	

**【目的】**

養護老人ホームへの入所措置、軽費老人ホームの管理運営を通して、在宅生活が困難な高齢者の生活の安定を図る。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

1 老人保護措置事業 7,614

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設入所状況及び委託料 (7,520)

区分	運営・委託先	措置人数(人)	措置委託料
養護老人ホーム春日園 (群馬県渋川市)	社会福祉法人春日園	2	5,407
養護盲老人ホーム 胎内やすらぎの家(胎内市)	社会福祉法人愛光会	1	2,113
合計		3	7,520

(2) 上越市老人ホーム入所判定委員会委員報償金、費用弁償(五智養護老人ホーム) (94)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人保護措置費等		

2 軽費老人ホーム管理運営事業 110,979

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の概要と指定管理の状況

施設名	千寿園（寺町3丁目） ケアハウス上越（新光町3丁目）
導入開始年度	平成18年度
指定管理者名	社会福祉法人上越老人福祉協会
現行指定期間	令和元年度～令和5年度

(2) 入居者数

(単位：人)

施設名	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
千 寿 園 (定員50人)	※入居者数	50	50	50	50
	新規入所者数	7	5	-	5
	退所者数	6	7	-	5
ケアハウス上越 (定員30人)	※入居者数	30	30	30	30
	新規入所者数	6	5	-	3
	退所者数	6	5	-	3

※各月の最大入居者数の平均(少数点以下四捨五入)

(3) 指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
				予 算	実 績	
①収入		-	-	-	-	
②支出	管理運営業務委託料	87,708	87,777	87,708	87,708	
	その他委託料	216	387	525	395	
	千寿園	消耗品	-	-	20	20
		修繕料	2,956	4,182	2,372	1,854
		備品購入費	-	-	438	248
		土地賃借料	890	890	890	890
		工事請負費	-	932	-	-
	ケアハウス上越	修繕料	2,163	1,036	664	658
		備品購入費	-	470	-	-
		工事請負費	-	-	19,206	19,206
合 計		93,933	95,674	111,823	110,979	
③入居者1人当たりの公費 投入額(円)		1,174,163	1,195,925	1,397,788	1,387,238	

<修繕料の主な内容>

- ・北側止水栓漏水修繕（千寿園） 587
- ・1号室エアコン取替修繕（千寿園） 424
- ・照明器具修繕（ケアハウス上越） 199



決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人保護措置費等		

(4) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況  
 <千寿園>

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	37,774	37,389	37,200	37,747
	管理運営業務委託料	55,890	55,625	55,890	55,890
	その他	15	15	14	16
②支出		91,517	90,120	92,453	90,610
差引 (①-②)		2,162	2,909	651	3,043

<ケアハウス上越>

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	20,385	20,181	20,600	20,827
	管理運営業務委託料	31,818	32,152	30,594	31,818
	その他	10	5	0	13
②支出		53,260	54,375	54,298	53,528
差引 (①-②)		△1,047	△2,037	△3,104	△870

**【事業の成果】**

在宅生活が困難で養護老人ホームや軽費老人ホームでの支援が必要な高齢者の入退所をスムーズに行った。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、軽費老人ホームへの入所が必要な人が、速やかに入所できるようにする。

**【執行残額について】**

○入札差金

- ・軽費老人ホーム千寿園及びケアハウス上越に係る防火設備定期点検業務委託等 844

○その他

- ・養護老人ホームの介護サービス利用者負担加算金が見込みを下回ったことによる委託料の残等 900

(単位：千円)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人短期入所事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
57	-					
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	57				57	

### 【目的】

低所得者にショートステイの利用料を一部助成し、必要なサービスを受けられるよう支援する。

### 令和3年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・本助成制度を開始した平成25年度から利用実績なし
- ・7日分を限度として利用料の9割を助成

### 【事業の成果】

助成申請はなかったものの、緊急時における利用者や家族等のセーフティネットとしての機能を担っている。

### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

要介護・要支援認定者が緊急時にいつでも利用できるよう本助成制度を維持し、引き続き介護支援専門員など関係者に周知する。

### 【執行残額について】

○その他

- ・利用実績がなかったことによる残 57

(単位：千円)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	日常生活用具助成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
32,876	32,272			9,100		23,172
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	604				604	

**【目的】**

健康に不安を抱える低所得のひとり暮らし高齢者世帯等の緊急通報手段を確保し、安心して日常生活を送ることができるよう支援する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

引き続き、地域包括支援センター等と連携し、対象者に緊急通報装置の積極的な設置勧奨を行い、緊急時の安全・安心につなげる。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・貸与状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
緊急通報装置	1,049	33,394	1,012	32,605	972	32,243
シルバーホン あんしんS	6	32	4	22	4	20
電話貸与	6	14	4	11	4	9
合計	1,061	33,440	1,020	32,638	980	32,272

※各年度の世帯数は、年度末時点の世帯数

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	日常生活用具助成事業		

○目標達成状況

地域包括支援センター等と連携し、ひとり暮らし高齢者世帯等に対して緊急通報装置を貸与することにより、緊急時における安全・安心の確保につなげることができた。

**【事業の成果】**

ひとり暮らし高齢者世帯等、支援を必要とする人に緊急通報装置を貸与することで緊急時の不安の解消につながった。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

ひとり暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加が見込まれることから、引き続き、地域包括支援センターの訪問活動の際に制度を周知するなど、緊急通報装置の設置を勧奨する。

**【執行残額について】**

○その他

- ・緊急通報装置の貸与数が見込みを下回ったことによる委託料等の残 604

(単位：千円)

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	紙おむつ助成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
50,816	50,758					50,758
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	58				58	

**【目的】**

在宅で介護を受けている寝たきりの高齢者等に紙おむつを支給することにより、介護負担の軽減を図る。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携し、紙おむつを必要とする人に的確に支給する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・支給実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録者数(人)	1,268	1,251	1,269
実利用者数(人)	1,145	1,134	1,135
支給額	51,704	50,904	50,263

※登録者数、実利用者数は年平均

## ○目標達成状況

地域包括支援センターやケアマネジャーなど関係者と連携を密にし、紙おむつを必要とする人に支給することができた。

**【事業の成果】**

紙おむつを必要とする人に支給することで介護者の経済的負担の軽減を図るとともに、安心して在宅生活を送ることができるよう支援した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、地域包括支援センターやケアマネジャーなど関係者と連携し、紙おむつが必要な人に適切に支給する。

決算書 (P188～P189)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	紙おむつ助成事業		

**【執行残額について】**

○その他

- ・利用者数が見込みを下回ったことによる給付費等の残 58

(単位：千円)

決算書 (P188～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	在宅福祉支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
15,695	14,234					14,234
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,461				1,461	

**【目的】**

在宅で介護を受けながら生活する高齢者と高齢者を支える介護者への各種支援を総合的に実施する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

1 寝具丸洗い・乾燥サービス事業 7,495

## ○令和3年度目標

地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携を図りながら、必要とする人に的確にサービスを提供する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・利用件数等

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用助成費		9,114	8,189	7,460
登録者数(人)		529	446	422
利用件数(件)	丸洗い	718	671	536
	乾燥	2,125	1,838	1,692
	合計	2,843	2,509	2,228

## ○目標達成状況

地域包括支援センターやケアマネジャーを通じてサービスにつなぎ、利用者の衛生的な生活環境を保つとともに、介護者の負担軽減につなげることができた。

決算書 (P188～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	在宅福祉支援事業		

2 訪問理・美容サービス事業 1,741

○令和3年度目標

ケアマネジャー及び理・美容店と連携を図りながら、必要とする人に的確にサービスを提供する。

○実施内容、これまでの経過等

・利用件数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
報償費	1,784	1,628	1,635
実利用者数(人)	496	476	560
利用件数(件)	1,546	1,394	1,412

※施設への出張については、午前・午後を単位として、複数人を整髪した場合であっても1回の出張として扱う。

○目標達成状況

訪問理・美容サービスを必要な人に提供し、快適に生活を送ることができるよう支援した。

3 高齢者福祉相談事業 4,882

○令和3年度目標

ワンストップサービスで、高齢者とその家族等からの多様な相談等に的確に対応する。

○実施内容、これまでの経過等

・相談件数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数(件)	11,616	10,920	10,952

<相談内容>

- ・介護保険サービスに関する相談 4,129件
- ・介護認定申請に関する相談 3,630件
- ・在宅福祉サービスに関する相談 2,464件
- ・その他の相談等 729件

○目標達成状況

各種申請手続や生活困窮などの相談にワンストップで対応できる福祉総合窓口を設置し、市民に寄り添った丁寧な窓口対応を行った。



決算書 (P188～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	在宅福祉支援事業		

#### 4 救急医療・災害時支援情報キット配付事業 116

##### ○令和3年度目標

対象者を把握し、キットを確実に配付するとともに、地域包括支援センター等の協力を得て配付後の情報シートの記載等を支援する。

##### ○実施内容、これまでの経過等

65歳以上のひとり暮らし高齢者795人にキットを配付した。

##### ○目標達成状況

要介護認定を受けている65歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し、居宅介護支援事業所を通じてキットを配付しシートへの記入の支援を行った。また、救急時の対応を速やかに行うために情報シートの様式を妙高市と統一するとともに、高齢者による記入が容易になるよう簡易なものに見直した。

#### 5 高齢者見守り支援ネットワーク事業

##### ○令和3年度目標

引き続き、各地域に出向いて見守り支援の体制づくりと活動を働きかける。

##### ○実施内容、これまでの経過等

- ・高齢者全体を地域で見守る活動を推進するため、各地域で開催される地域ケア会議などで、効果的な見守りの実施を呼びかけた。
- ・高齢者等見守り協力事業所や地域包括支援センターと連携し、高齢者の見守りを行い、必要な支援につなげた。

##### ○目標達成状況

地域ケア会議や民生委員の研修会での意見交換を通じて地域課題を洗い出し、見守り活動につなげた。

#### 【事業の成果】

支援を必要とする対象者に対して各事業の周知とサービスの提供に努めた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・高齢者が安全で安心した暮らしを送れるように、在宅での生活の不安解消につながる取組を継続するため、関係機関との連携や地域の見守り支援の体制づくりを推進する。

#### 【執行残額について】

##### ○その他

- ・各事業の実績が見込みを下回ったことによる残 1,461

(単位：千円)

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人福祉対策事務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
15,286	14,533				67 (譲入)	14,466
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	753				753	

**【目的】**

高齢者福祉業務に係るシステムの運用管理及び事務に必要な経費を計上し、業務を円滑に遂行する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

1 老人対策事務費 8,403

○実施内容、これまでの経過等

- ・会計年度任用職員報酬及び共済費 (6,958)
- ・複写機借上料 (1,099)
- ・庁用自動車管理経費ほか (346)

2 避難行動要支援者支援事業 6,130

○令和3年度目標

町内会(自主防災組織)における個別避難計画の作成率 99%

○実施内容、これまでの経過等

(1) 避難行動要支援者名簿の更新等 (432)

災害時における避難行動要支援者の支援体制を整えるため、民生委員・児童委員の協力を得て避難行動要支援者名簿を整理し、町内会や関係機関(警察署、消防署、地域包括支援センターなど)に必要な情報を提供した。

(2) 災害時要援護者台帳システム改修 (5,698)

災害発生時の安否確認等を的確に実施するため、地図情報の更新などのシステム改修を実施した。

○目標達成状況

町内会における個別避難計画の作成率は、令和2年度より1.3ポイント上昇し、98.5%となったが、目標の99%には至らなかった。

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人福祉対策事務費		

### 3 福祉避難所

#### ○実施内容、これまでの経過等

福祉避難所避難対象者名簿を更新し、町内会、民生委員・児童委員等に情報提供を行うとともに、町内会の協力を得て、避難対象者の支援者を選定した。

<福祉避難所避難対象者>

(令和4年3月末現在)

区 分	人 数
身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかを所持する人のうち、障害支援区分5・6に該当する人	121人
障害特性により指定避難所で生活を送ることが困難な人（多動や自閉症等の障害のある人など）	56人
要介護4・5の人のうち、特別な医療が必要な人又は、ひとり暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯の人	298人
合 計	475人

#### 【事業の成果】

高齢者福祉支援システム及び災害時要援護者台帳システムの運用等を確実にを行い、支援を必要とする対象者の情報を管理することで、高齢者福祉業務を円滑に遂行した。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・個別避難計画が未作成の町内会に対し、引き続き作成に向けた支援を行う。
- ・町内会長と民生委員・児童委員が連携を図り、要支援者名簿を精査するとともに、要支援者を想定した防災訓練等を通じて、個別避難計画の実効性を高める。

#### 【執行残額について】

##### ○その他

- ・郵送料等が見込みを下回ったことによる残 753

(単位：千円)

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	住宅環境整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,428	10,213		5,090			5,123
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	215				215	

## 【目的】

要介護又は要支援認定を受けた高齢者の住宅の改造に必要な経費を補助し、住み慣れた家で自立した生活を送ることができるようにするとともに、介護者の負担軽減を図る。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和3年度目標

住宅改修等適正化推進員が書類審査や現地確認を行い、必要に応じて施工業者や介護支援専門員に助言を行い、高齢者の自立支援、転倒予防及び家族の介護負担の軽減等につなげる。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・補助額及び補助件数

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数(件)	金額	件数(件)	金額	件数(件)	金額
高齢者向け住宅 リフォーム助成	54	8,776	39	6,897	58	10,213
生活保護世帯	-	-	1	300	2	478
所得税非課税世帯	38	6,639	24	4,802	33	6,712
所得税課税世帯	16	2,137	14	1,795	23	3,023

## ○目標達成状況

住宅改修等適正化推進員が専門的見地から適正に審査を行うとともに、施工業者や介護支援専門員に必要な助言を行うことにより、高齢者の身体状況に応じた自立支援、転倒予防及び家族の介護負担軽減等につながる改造等を行うことができた。

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	住宅環境整備事業		

**【事業の成果】**

高齢者の身体状況に適したトイレ、玄関等のリフォーム助成により、高齢者が住み慣れた家で安心して自立した生活を送ることができる環境を整えることができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・介護支援専門員と連携して制度の周知を図るとともに、住宅改修等適正化推進員が必要な助言を行うことで、高齢者の身体状況に応じた改造が行われるよう取組を進める。
- ・引き続き、建築住宅課等の関連部署と連携し、制度を周知する。

**【執行残額について】**

○その他

- ・補助件数が見込みを下回ったことによる残 215

(単位：千円)

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シルバー人材センター費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,237	19,192					19,192
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	45			4	41	

**【目的】**

シルバー人材センターへの支援を通して、高齢者に就労を通じた生きがいがづくりの場を提供し、地域社会を活性化する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

1 シルバー人材センター補助金等交付事業 17,971

○実施内容、これまでの経過等

上越市シルバー人材センターの運営費を補助

<上越市シルバー人材センターの実績(派遣事業を含む)>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会員数(人)	1,050	1,004	1,020
受注件数(件)	11,093	10,894	10,683
事業収入額	484,105	470,569	475,052

2 シルバープラザ上越維持管理 1,221

○実施内容、これまでの経過等

・電柱支線不具合修繕等

・機械警備業務、日常清掃業務、消防用設備点検業務等

**【事業の成果】**

シルバー人材センターを通じて高齢者の就業機会を提供できた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

高齢者の就業機会を確保するため、引き続きシルバー人材センターを支援する。

**【執行残額について】**

○入札差金

・施設管理委託料 4

○その他

・営繕修繕が発生しなかったことによる残 41

(単位：千円)

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	敬老祝賀事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
37,283	36,695					36,695
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	588			4	584	

## 【目的】

家族や地域住民が、長年にわたり社会の発展に貢献した高齢者を敬愛する心豊かな地域社会づくりを促進する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

1 敬老会 35,745

## ○令和3年度目標

好事例集や準備マニュアルを活用して、敬老祝賀事業を実施していない町内会に実施を働きかける。

## ○実施内容、これまでの経過等

(1) 対象者

75歳以上の高齢者

(2) 内容

まちづくり振興会や町内会等地域団体に敬老祝賀事業を委託した。委託に至らなかった町内会へは、市が祝菓子を送付した。

(3) 敬老祝賀事業委託状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会総数(※)	817	812	816
敬老祝賀事業実施町内会数 (実施率)	741 (90.7%)	717 (88.3%)	724 (88.7%)
うち敬老会実施町内会数	728	21	54
うち祝品贈呈実施町内会数	13	696	670

※対象者(75歳以上の高齢者)がない町内会は含まない。

## ○目標達成状況

年度当初に敬老会開催事例集を送付したものの、新規の実施に至らなかった。

決算書 (P190～P191)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	敬老祝賀事業		

2 100歳祝賀事業 950

○実施内容、これまでの経過等

(1) 対象者

令和3年度中に100歳を迎えた110人

(大正10年4月1日から大正11年3月31日の間に出生した人)

(2) 内容

訪問又は郵送により、対象者に祝状と記念品(色絵椿紋 湯呑)を贈呈した。

**【事業の成果】**

100歳祝賀事業は、新潟県と連携を図り、祝賀対象者に国・県とあわせて祝状と記念品を贈呈し、100歳となる節目の年に敬老の意を表すことができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、敬老会等を実施していない町内会に対し実施を働きかける。

**【執行残額について】**

○入札差金

・100歳祝賀祝状印刷 4

○その他

・対象者数が見込みを下回ったことによる残 584



(単位：千円)

決算書 (P190～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人趣味の家等管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,636	18,536				2,060 (寄附金、譲入金)	16,476
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,100			271	829	

## 【目的】

各種講座の開催、老人憩の家の供用を通し、高齢者の居場所と交流、活動の場を創出し、生きがいつくりや健康増進につなげる。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

1 老人趣味の家趣味講座運営費 6,154

## ○令和3年度目標

趣味講座の内容の見直しを検討するほか、新型コロナウイルス感染症対策を行い講座を開講することで、高齢者同士の交流を促進し、生きがいつくりや健康増進につなげる。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 実施内容

趣味の家の維持管理（光熱水費、施設管理業務、機械警備ほか）

<高田西趣味の家趣味講座開催状況>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
講座数	19	18	18	18
延べ講座回数(回)	644	417	665	649
延べ受講者数(人)	11,266	5,194	11,725	7,640

決算書 (P190～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人趣味の家等管理運営費		

(2) 施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	2,938	1,304	3,002	1,970
	合 計	2,938	1,304	3,002	1,970
②支出	施設維持管理費	2,507	2,489	2,790	2,506
	うち委託料	1,498	1,518	1,786	1,512
	その他	4,011	2,360	3,934	3,648
	合 計	6,518	4,849	6,724	6,154
③公費投入額 (②-①)		3,580	3,545	3,722	4,184
④延べ利用者1人当たりの公費投入額 (円)		318	683	317	548

○目標達成状況

- ・各講座の実態や課題を踏まえ、高田西趣味の家趣味講座の見直しに向けた検討を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら開講し、高齢者同士の交流機会や趣味活動の場を提供することができた。

2 老人憩の家管理運営費 467

○実施内容、これまでの経過等

(1) 実施内容

磯野園の維持管理（鍵管理謝礼、光熱水費、施設管理業務）

<磯野園利用状況>

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計 画	実 績
延べ利用者数 (人)	2,171	1,164	3,389	1,592

(2) 施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	150	150	100	90
	合 計	150	150	100	90
②支出	施設維持管理費	297	370	323	347
	うち委託料	193	195	196	252
	その他	120	120	120	120
	合 計	417	490	443	467
③公費投入額 (②-①)		267	340	343	377
④延べ利用者1人当たりの公費投入額 (円)		123	292	101	237

決算書 (P190～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人趣味の家等管理運営費		

3 老人福祉センター春日山荘補助金 11,915

○実施内容、これまでの経過等

<春日山荘趣味教室の開催状況>

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
講座数	35	31	31
延べ講座回数(回)	1,039	626	947
延べ受講者数(人)	20,092	10,160	15,413

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、高齢者の居場所と交流、活動の場を創出し、生きがいつくりや健康増進に貢献することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

趣味講座の受講生や講師と意見交換を行い、より高齢者が活動しやすい環境づくりを検討する。

【執行残額について】

○入札差金

・施設管理委託料 271

○その他

・光熱水費等が見込みを下回ったことによる残 829

(単位：千円)

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	ゲートボールハウス等管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,876	10,289				2,395 (使用料、助産収入)	7,894
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	587		142	79	366	

## 【目的】

ゲートボールハウス等を適切に維持管理し、高齢者に健康保持と交流、生きがいをづくりの場を提供する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

## (1) 利用者数

(単位：人)

区分	名称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画	実績
屋内	直江津ゲートボールハウス	5,278	3,231	3,825	2,944
	中部ゲートボールハウス	11,540	7,194	8,204	10,396
	高田西ゲートボールハウス	9,431	7,386	6,772	8,618
	高田東ゲートボールハウス	9,272	6,602	6,560	8,703
	安塚多目的交流施設	1,451	1,206	1,434	1,145
	浦川原谷ゲートボールハウス	-	-	-	-
	大瀧コミュニティスポーツハウス	1,314	727	670	484
	三和ふれあいホール	3,104	2,801	3,600	2,982
屋外	春日山ゲートボール場	8,436	5,028	8,866	5,887
	牧ゲートボール場	389	204	243	729
合計		50,215	34,379	40,174	41,888

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	ゲートボールハウス等管理運営費		

(2) 施設管理における市の収支状況

区 分		ゲートボールハウス (4施設) ※	安塚多目的 交流施設	浦川原谷 ゲートボールハウス	大潟コミュニティ スポーツハウス
①収入	使用料収入	1,849	75	-	43
	その他	178	-	-	-
	合 計	2,027	75	-	43
②支出	施設維持管理費	4,677	837	71	862
	うち委託料	1,854	635	22	630
	その他	-	-	-	-
	合 計	4,677	837	71	862
③公費投入額 (②-①)		2,650	762	71	819
④利用者1人当たりの 公費投入額 (円)		86	666	-	1,692

区 分		三和ふれあい ホール	春日山 ゲートボール場	牧 ゲートボール場	合 計
①収入	使用料収入	250	-	-	2,217
	その他	-	-	-	178
	合 計	250	-	-	2,395
②支出	施設維持管理費	1,334	654	12	8,447
	うち委託料	555	251	-	3,947
	その他	-	1,842	-	1,842
	合 計	1,334	2,496	12	10,289
③公費投入額 (②-①)		1,084	2,496	12	7,894
④利用者1人当たりの 公費投入額 (円)		364	424	16	188

※ゲートボールハウス (4施設) : 直江津、中部、高田西、高田東ゲートボールハウス

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら、高齢者に健康保持と交流、生きがいづくりの場を提供できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、ゲートボールハウス等を適切に管理し、快適に利用できる環境を確保する。

【執行残額について】

○事業未実施

- ・建築物点検の実施が不要だったことによる執行残 142

○入札差金

- ・施設管理委託料等 79

○その他

- ・消耗品、光熱水費等が見込みを下回ったことによる残 366

(単位：千円)

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人クラブ助成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
21,256	20,883		9,825			11,058
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	373				373	

**【目的】**

会員同士の交流を深め、高齢者の生きがいと健康づくりの増進を図ることを目的とする老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動を支援する。また、各連合会を統括する上越市老連連絡協議会の活動を支援し、連合会同士の連携を推進する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

老人クラブの活性化や会員確保に向けた取組を支援し、老人クラブ活動の促進と高齢者の健康や生きがいづくりの増進を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

老人クラブ連合会及び上越市老連連絡協議会の活動費等を補助し、活動を支援した。

## (1) 単位老人クラブへの補助 14,700

① 老人クラブ連合会に加入している単位老人クラブへの補助 (13,920)

② 老人クラブ連合会に加入していない単位老人クラブへの補助 (780)

## (2) 老人クラブ連合会(13連合会)への補助 6,042

## (3) 上越市老連連絡協議会への補助 141

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	老人クラブ助成事業		

<老人クラブ数、会員数、補助金額の状況>

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人クラブ連合会 に加入している単 位老人クラブ	クラブ数	241	228	213
	会員数(人)	13,739	12,732	11,397
	補助金額	16,301	15,059	13,920
老人クラブ連合会 に加入していない 単位老人クラブ	クラブ数	35	34	33
	会員数(人)	1,509	1,350	1,336
	補助金額	841	779	780
合計	クラブ数	276	262	246
	会員数(人)	15,248	14,082	12,733
	補助金額	17,142	15,838	14,700

<老人クラブ連合会補助金の状況>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人クラブ連合会補助金	6,526	6,306	6,042

○目標達成状況

広報上越などを通じて老人クラブの活動を紹介し、会員確保の取組を支援した。

【事業の成果】

老人クラブへ事業費等の一部を助成し、高齢者の健康増進活動、交流・友愛活動及び地域福祉活動の活性化に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、老人クラブ及び老人クラブ連合会等の活動を支援する。

【執行残額について】

○その他

- ・単位老人クラブ数及び会員数等の減少に伴う補助金の残 373

(単位：千円)

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生きがいと健康づくり推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,305	872					872
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,433		1,386		47	

## 【目的】

シニアスポーツ大会や趣味活動の作品展示などを通し、高齢者同士や多世代間の交流を深め、高齢者の健康増進と生きがいづくりにつなげる。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## 1 シニアスポーツ大会 376

## ○令和3年度目標

参加者が元気に競技できるよう適切にスポーツ大会を運営し、高齢者同士の交流や地域とのつながりの深化につなげる。

## ○実施内容、これまでの経過等

<シニアスポーツ大会参加者数>

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合併前15区	856	-	-
安塚区	161	-	-
浦川原区	134	-	65
大島区	142	63	75
牧区	165	-	-
柿崎区	230	-	-
大潟区	150	-	83
頸城区	400	-	-
吉川区	230	-	70
中郷区	178	71	179
清里区	253	-	-
三和区	370	-	-
名立区	61	-	59
合計	3,330	134	531



決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生きがいと健康づくり推進事業		

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、7地区の大会を中止したが、開催した6地区においては、種目を変更するなど感染対策を講じながら、高齢者同士の交流を深めることができた。

2 シニア作品展 345

○令和3年度目標

作品展を広く市民に周知し、高齢者の趣味活動の成果を鑑賞してもらい、創作活動の活性化につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 期間：令和3年10月15日（金）～18日（月）
  - (2) 会場：上越市市民プラザ
  - (3) 主な出品の種類：書道、水彩画、陶芸、パッチワーク、編物、水墨画、盆栽など
- <出品総数及び来場者数>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
出品数（点）	404	315	322
来場者数（人）	1,864	851	823

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため展示期間を2日間に短縮し実施

○目標達成状況

- ・広報上越や市ホームページへの掲載、また各施設へのポスター掲示により、シニア作品展の開催を広く周知した。
- ・出品者からは創作意欲の向上につながったとの声もあり、創作活動の活性化に寄与することができた。

3 シニアゲートボール大会等 151

○令和3年度目標

参加者が元気に競技できるよう適切にゲートボール等の大会を運営し、高齢者同士の交流や地域とのつながりの深化につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

<シニアゲートボール大会開催状況> (単位：チーム、人)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
合併前15区	27	176	-	-	15	86
大島区	5	28	-	-	-	-
牧区	8	48	-	-	8	44
頸城区	6	37	-	-	-	-
清里区	9	68	-	-	-	-
合計	55	357	-	-	23	130

決算書 (P192～P193)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生きがいと健康づくり推進事業		

<輪投げ大会開催状況>

(単位：チーム、人)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
三和区	13	230	-	-	-	-

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会を中止した地区が多かったが、実施した地区においては、高齢者同士の交流を図ることができた。

【事業の成果】

- ・シニアスポーツ大会及びシニアゲートボール大会等は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら開催した地区においては、高齢者の活動の場、交流の場を提供することができた。
- ・シニア作品展は、高齢者の趣味活動や創作活動を奨励し、生きがいづくりにつなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、老人クラブ連合会などの関係機関と連携しながら、シニアスポーツ大会やシニア作品展、シニアゲートボール大会等を開催する。

【執行残額について】

○事業未実施

- ・スポーツ大会やゲートボール大会を中止したことによる残 1,386

○その他

- ・消耗品費や保険料等が見込みを下回ったことによる残 47

(単位：千円)

決算書 (P192～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアパスポート事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
34,776	31,163					31,163
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,613				3,613	

**【目的】**

高齢者に外出を促し、健康維持や仲間との交流につなげる。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

シニアパスポートの利用をきっかけに、高齢者の交流活動や健康維持を促す。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 実施内容

- ・70歳以上の高齢者を対象にシニアパスポートを発行し、パスポート提示者の市内の公共施設等の利用料金を半額程度に減免するとともに、減免相当額については、指定管理者等へ市が補填した。
- ・シニアパスポートの利用促進と事業の適正な運用を図るため、利用対象施設一覧を広報上越に掲載して周知した。

## (2) 対象施設

くるみ家族園、吉川ゆったりの郷、市民いこいの家、鶉の浜人魚館など32施設

## (3) 協賛事業者数

23事業者

## (4) 利用実績

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	延べ利用者数(人)	減免補填金	延べ利用者数(人)	減免補填金	延べ利用者数(人)	減免補填金
直営施設	13,274	2,288	10,617	2,222	11,816	2,228
指定管理施設等	169,331	38,051	102,295	22,976	124,684	28,491
合計	182,605	40,339	112,912	25,198	136,500	30,719

決算書 (P192～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアパスポート事業		

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中においても一定の利用があり、高齢者の交流活動や健康維持を促すことができた。

【事業の成果】

前年度より延べ利用者数が増加し、高齢者の外出するきっかけづくりができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、シニアパスポートの利用促進を図り、高齢者が温浴施設や体育施設に出かけることにより、交流活動や健康維持につながるよう支援する。

【執行残額について】

○その他

- ・補填金等が見込みを下回ったことによる残 3,613

(単位：千円)

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	ふれあいランチサービス事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
75,905	75,094			9,300	32,153 (繰入)	33,641
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	811				811	

## 【目的】

ひとり暮らし高齢者等にバランスのとれた食事を提供するとともに、配達時に安否確認を行い高齢者等が健康で自立した生活ができるよう支援する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和3年度目標

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、心身の状況や家庭環境の分析などの聞き取り調査(アセスメント)を行い、必要な人に的確にサービスを提供する。

## ○実施内容、これまでの経過等

ひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯等のうち、アセスメントにより事業利用が適当と認められる人に対し、栄養管理及び品質管理を適正に行い、バランスのとれた食事を提供するとともに、手渡しで弁当を配達することにより安否確認を行った。

## (1) 登録者数(2月時点) (単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度
510	517	567

## (2) 利用実績

年間配食数(食)			委託料		
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
87,833	88,715	96,348	68,031	69,775	75,036

## (3) 異変時の対応

- ・配達先で体調不良者を発見し、ホームヘルパーにつなげた。

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	ふれあいランチサービス事業		

○目標達成状況

アセスメントの実施により、利用者が必要とする提供回数や食事の内容などを把握し、一人一人の実情にあった適切なサービスを提供することができた。

**【事業の成果】**

アセスメントに基づくバランスのとれた食事の提供のほか、安否確認により、ひとり暮らし高齢者の異変発見につながった。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、アセスメントに基づき、必要な人に適切にサービスを提供する。

**【執行残額について】**

○その他

- ・配食数が見込みを下回ったことによる委託料等の残 811

(単位：千円)

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアサポートセンター運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9	6					6
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

**【目的】**

援助を受けたい高齢者（利用会員）と援助を行いたい高齢者等（提供会員）を結び付け、高齢者が共に支え合う地域社会づくりを推進する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## 1 シニアサポートセンター運営事業 6

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 援助内容

- ・ごみ出し、買い物、掃除、洗濯等の日常生活の援助
- ・趣味活動の援助
- ・話し相手等の孤独感解消の援助

## (2) 利用会員及び提供会員数

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員	17	12	10
提供会員	14	11	9

## (3) 利用件数

(単位：件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ利用件数	921	505	319

※シニアサポートセンター運営事業は新規会員を募っていない。

※利用者の希望に応じて、訪問型サービスB（有償ボランティアによる家事支援）や社会福祉協議会実施のほっと安心・生活サポーターも利用できる。

**【事業の成果】**

高齢者の社会参加促進策の一つとして、ボランティア活動を支援し、元気な高齢者と軽度の家事支援を必要とするひとり暮らし高齢者等の互助の機会を提供した。

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアサポートセンター運営事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

シニアサポートセンター運営事業の利用者・提供者ともに、訪問型サービスB、ほっと安心・生活サポーターへの移行を進める。

**【執行残額について】**

○その他

- ・シニアサポートセンターの提供サービスの件数が見込みを下回ったことによる保険料の残 3



(単位：千円)

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,944	6,579				0 (繰入)	6,579
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	365				365	

**【目的】**

シニアセンターを、高齢者の創作活動の発表の場及び世代を超えた交流の場として提供し、高齢者の生きがいづくりを支援する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

目的に沿い、適切な管理運営を行う。また、令和4年度のシニアセンター移転に向けた準備を円滑に進める。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 事業内容

- ・老人趣味の家の講座受講生や60歳以上の市民などが趣味活動で創作した作品を展示
- ・談話室において、高齢者が地域の小学生と世代を超えた交流を実施

## (2) 入館者数

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
本町ふれあい館	11,267	8,001	9,403	9,987
直江津ふれあい館	2,832	2,083	2,202	2,371
合計	14,099	10,084	11,605	12,358

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	シニアセンター管理運営費		

(3) 収支状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	施設維持管理費	5,811	6,015	6,944	6,579
	うち委託料	5,063	5,305	5,634	5,717
	その他	-	-	-	-
	合 計	5,811	6,015	6,944	6,579
③公費投入額 (②-①)	5,811	6,015	6,944	6,579	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	412	596	598	532	

○目標達成状況

- ・高齢者の生きがいを支援するため、適切な管理運営を行うことができた。
- ・本町ふれあい館の移転に向けて、当該施設を廃止するとともに、施設廃止後の作品展示場所となる福祉交流プラザ及び雁木通りプラザへの移転準備を進めることができた。

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら管理運営を行った。
- ・高齢者の創作活動の場を提供し、生きがいを支援した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、高齢者の創作活動の発表の場として利用できるように展示ギャラリーを適切に管理する。
- ・直江津ふれあい館の機能移転に向けた準備を進める。

【執行残額について】

○その他

- ・事業用備品購入費等が見込みを下回ったことによる残 365

(単位：千円)

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	介護保険サービス利用者負担金等助成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,789	27,646		4,437			23,209
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	143				143	

## 【目的】

介護保険サービス利用者負担金の助成を通して、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境を整える。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和3年度目標

助成制度の周知を図るとともに、適切で迅速な審査により、申請者に対して早期に決定を行う。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・助成額等

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	サービス区分			サービス区分			サービス区分		
	施設	居宅	合計	施設	居宅	合計	施設	居宅	合計
認定証交付対象者(人)	454			433			447		
補助金	5,902	1,244	7,146	5,805	1,488	7,293	5,332	1,454	6,786
助成金 (ア+イ)	11,720	8,614	20,334	11,441	8,710	20,151	11,372	9,427	20,799
ア 国制度分	9,687	3,616	13,303	9,089	3,627	12,716	8,964	3,320	12,284
イ その他分	2,033	4,998	7,031	2,352	5,083	7,435	2,408	6,107	8,515
合計	17,622	9,858	27,480	17,246	10,198	27,444	16,704	10,881	27,585

決算書 (P194～P195)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	介護保険サービス利用者負担金等助成事業		

○目標達成状況

窓口でのチラシ提示や相談受付時の説明等により制度の周知を図った。申請については、適切かつ迅速に審査を行い、結果を通知した。

【事業の成果】

低所得者の自己負担の軽減を図り、必要とする介護保険サービスの利用につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

国の制度改正等を注視しながら、引き続き、低所得者に対する負担軽減策を講じる。

【執行残額について】

○その他

- ・サービス利用が見込みを下回ったことによる残 143

(単位：千円)

決算書 (P 194～P 195)	3 款 1 項 5 目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生活支援ハウス運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
55,531	55,186			35,600	4,765 (使用料、譜収入)	14,821
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	345			40	305	

## 【目的】

加齢により独立して生活することに不安のある高齢者に対し、生活の場と交流の機会を提供し、安心して健康的な生活を送ることが出来るよう支援する。

## 令和 3 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

(1) 年間平均利用者数

(単位：人)

施設名称	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
浦川原生活支援ハウス	10	6.1	6.0	5.6
頸城生活支援ハウス	10	8.5	6.3	7.4
板倉生活支援ハウス	12	8.8	8.9	7.8
清里生活支援ハウス	16	13.9	12.0	12.2
名立生活支援ハウス	15	7.7	7.9	6.9
牧高齢者等福祉センター	10	5.4	4.4	6.6
安塚かたくりの家	5	1.6	0.2	-
合計	78	52.0	45.7	46.5

※年間平均利用者数＝延べ利用者数/開設日数

牧高齢者等福祉センターは12～4月のみ

決算書 (P 194～P 195)	3 款 1 項 5 目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生活支援ハウス運営費		

(2) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

施設名称	収 入				支 出			差 引
	利用料 収 入	管理運 營業務 委託料	その他	合 計	事業費	その他	合 計	
浦川原生活支援ハウス	447	7,672	943	9,062	11,835	-	11,835	△2,773
頸城生活支援ハウス	428	8,809	721	9,958	9,465	359	9,824	134
板倉生活支援ハウス	278	5,436	1,081	6,795	6,821	-	6,821	△26
清里生活支援ハウス	402	9,548	1,398	11,348	12,758	-	12,758	△1,410
名立生活支援ハウス	275	13,178	671	14,124	14,112	84	14,196	△72
合 計	1,830	44,643	4,814	51,287	54,991	443	55,434	△4,147

(3) 管理運營業務委託料以外の市の支出

施設名称	支 出	委託料以外の経費内訳
浦川原生活支援ハウス	5,237	空調用冷却塔修繕負担金、生活支援ハウス利用料補填金
頸城生活支援ハウス	289	自家発電設備交換修繕負担金
板倉生活支援ハウス	280	給湯配管修繕負担金、生活支援ハウス利用料補填金
清里生活支援ハウス	1	生活支援ハウス利用料補填金
名立生活支援ハウス	1,073	エアコン入替修繕、冷温水ポンプ取替修繕負担金、洗濯機購入
合 計	6,880	

(4) 直営施設の収支状況

施設名称	収 入				支 出	差 引
	県支出金	使用料収入	その他	合 計	事業費	
牧高齢者等福祉センター	-	279	-	279	3,149	△2,870
安塚かたくりの家	-	-	3	3	515	△512
合 計	-	279	3	282	3,664	△3,382

決算書 (P 194～P 195)	3 款 1 項 5 目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	生活支援ハウス運営費		

**【事業の成果】**

ひとり暮らし高齢者等が安心して健康的な生活を送ることができるよう、支援を必要とする人に見守り体制の整った住居を提供することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、ひとり暮らしに不安がある高齢者が安心して健康的な生活を送ることができるよう、必要な人に対し、見守り体制の整った居住サービスを提供する。

**【執行残額について】**

○入札差金

・名立生活支援ハウスのエアコン入替修繕ほか 40

○その他

・牧高齢者等福祉センターの管理人の報酬等が見込みを下回ったことによる残 305

(単位：千円)

決算書 (P194～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	高齢者交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,707	1,628				161 (使用料、謝収)	1,467
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	79			10	69	

## 【目的】

大潟老人福祉センターを高齢者の趣味活動や健康づくりの場として提供する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

(1) 延べ利用者数

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		主な利用目的
			計画	実績	
大潟老人福祉センター	4,591	1,189	2,410	2,718	スポーツ教室、 介護予防事業
福寿荘	3,265	604	-	-	趣味活動等

(2) 施設管理における市の収支状況

&lt;大潟老人福祉センター&gt;

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画	実績
①収入	使用料収入	60	20	21	29
	その他	-	-	-	-
	合計	60	20	21	29
②支出	施設維持管理費	1,195	1,245	1,490	1,476
	うち委託料	781	829	837	833
	その他	0	0	0	0
	合計	1,195	1,245	1,490	1,476
③公費投入額(②-①)		1,135	1,225	1,469	1,447
④利用者1人当たりの 公費投入額(円)		247	1,030	610	532



決算書 (P194～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	高齢者交流施設管理運営費		

<福寿荘>

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	94	125	131	132
	合 計	94	125	131	132
②支出	施設維持管理費	1,594	2,630	132	152
	うち委託料	816	1,873	132	132
	その他	0	0	0	0
	合 計	1,594	2,630	132	152
③公費投入額 (②-①)		1,500	2,505	1	20
④利用者1人当たりの 公費投入額 (円)		459	4,147	-	-

※福寿荘は令和3年4月1日に公の施設として廃止し、上越市社会福祉協議会へ譲渡するに当たり、必要経費を支出したものの。また、収入については登記図面作成の負担金。

**【事業の成果】**

高齢者を始めとした様々な世代が集う交流やスポーツ教室の場としての利用に加え、介護予防を目的とした通いの場としての利用に供した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、活動の場を提供し、高齢者の健康づくりと交流を推進する。

**【執行残額について】**

○入札差金

・施設管理委託料、営繕修繕料 10

○その他

・光熱水費等が見込みを下回ったことなどによる残 69

(単位：千円)

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	高齢者外出支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,578	16,813					16,813
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	765					765

### 【目的】

高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下及び認知症を予防する。

### 令和3年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

#### ○令和3年度目標

引き続き、民生委員との連携により、対象世帯を的確に把握し、上越市高齢者福祉タクシー・路線バス利用券を交付する。

#### ○実施内容、これまでの経過等

##### ・利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	2,596	2,654	2,565
助成額(円)	16,633,210	15,538,460	15,438,830
1人当たり平均助成額(円)	6,407	5,855	6,019
1人当たり券利用率(%)	71.2	65.1	66.9

※助成額は年額1人当たり9,000円

#### ○目標達成状況

支援を必要とする対象者を的確に把握し、利用券を交付した。

### 【事業の成果】

民生委員との連携により対象世帯を把握し、必要な人に助成を行うことで外出を促し、閉じこもりによる体力低下及び認知症の予防につなげた。

### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、民生委員など関係者と連携し助成対象者を的確に把握し、申請者に利用券を交付する。

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	高齢者外出支援事業		

**【執行残額について】**

○その他

- ・利用者数が見込みを下回ったことによる助成費等の残 765

(単位：千円)

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	在宅介護手当給付事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
41,431	38,472				1,000 (寄附金)	37,472
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,959					2,959

### 【目的】

中重度の要介護者を在宅で介護している人に介護手当を給付し、介護者を慰労する。

### 令和3年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

#### ○令和3年度目標

居宅介護支援事業所等と連携し、対象者の的確な把握及び適正な給付を行う。

#### ○実施内容、これまでの経過等

##### (1) 対象者

要介護3～5の認定を受けた人を在宅で介護している人

##### (2) 給付額

月額3,000円

##### (3) 給付月

7月、11月、3月

##### (4) 給付実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給付者数(人)	1,643	1,554	1,570
給付額	40,341	38,946	38,316

#### ○目標達成状況

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に制度の概要を配布し、周知を行うとともに、関係機関等と連携して在宅介護の状況を把握し、適正な給付を行うことができた。

### 【事業の成果】

対象者に在宅介護手当を支給することにより、介護者を慰労することができた。

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	在宅介護手当給付事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、地域包括支援センターや在宅介護支援事業所と連携し、対象者の的確な把握及び適正な手当の給付を行う。

**【執行残額について】**

○その他

- ・利用者数が見込みを下回ったことによる扶助費等の残 2,959

(単位：千円)

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	地域福祉ボランティア事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
100	33					33
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	67				67	

**【目的】**

高齢者の活躍の場を創出し、介護予防や生きがいがづくりの増進を図るとともに、市民が介護や福祉への理解を深めるよう支援する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

地域福祉ボランティア登録者数 500人以上

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・介護保険及び障害福祉サービス運営法人に地域福祉ボランティア事業への参画について依頼したほか、広報上越や市ホームページ等を活用し、地域福祉ボランティアを募集した。

区分	登録数	
地域福祉ボランティア	65歳以上	14人
	65歳未満	14人
受入団体	32団体	

- ・地域福祉ボランティアが、福祉施設においてレクリエーションへの参加支援や清掃などの活動を延べ18回行った。

## ○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉施設におけるボランティア活動が制限された中で、市民のボランティアへの登録意欲を高めることができず、目標とする登録者数に至らなかった。

**【事業の成果】**

地域福祉ボランティアが、福祉施設においてレクリエーションへの参加支援や清掃などの活動を行うことで、高齢者の活躍の場を創出し、介護予防や生きがいがづくりの増進を図るとともに、介護や福祉への理解を深めることができた。

決算書 (P196～P197)	3款1項5目 老人福祉費	所管課等	高齢者支援課
事業名	地域福祉ボランティア事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

引き続き、市民に地域福祉ボランティアへの登録を促すため、広報上越や市ホームページ等を活用するとともに、新たに専門学校などにチラシの配布を行う。

**【執行残額について】**

○その他

- ・郵便料等が見込みを下回ったことによる残 67

(単位：千円)

決算書 (P198～P199)	3款1項7目 リゾートセンター費	所管課等	福祉課
事業名	くるみ家族園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,223	25,340					25,340
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,883			1,485	398	

## 【目的】

家族やグループが心身のリフレッシュと健康増進を図る目的で、気軽に利用できる憩いの場を提供する。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和3年度目標

- ・施設を適切に維持管理する。
- ・指定管理者と協議の上、施設の効果的、効率的な運営に取り組む。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者名	株式会社 メディカル&ケア
指定管理期間	令和元年度から令和3年度まで

## ○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	69,941人	46,920人	81,400人	54,406人

※令和2年度は、4月19日から5月10日まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、休業

令和3年1月10日から1月15日まで大雪災害により休業



決算書 (P198～P199)	3款1項7目 リゾートセンター費	所管課等	福祉課
事業名	くるみ家族園管理運営費		

○指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	上越リゾートセンターくるみ家族園 管理運営業務委託料	11,038	11,038	16,784	16,547
	再算定による 増加額※1	-	-	5,746	5,509
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	527	6,319	-	-
	修繕料	2,566	4,462	3,287	3,127
	施設管理委託料	39	116	-	-
	使用料及び賃借料	1	1	2	1
	工事請負費	-	-	7,150	5,665
	事業用備品購入費	-	61	-	-
	合 計	14,171	21,997	27,223	25,340
	シニアサポート補填金	7,197	5,318	8,114	6,104
③公費投入額 (②-①)		21,368	27,315	35,337	31,444
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		306	582	434	578

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、  
収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額したものの。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定  
に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	21,539	15,276	25,185	17,903
	上越リゾートセンターくるみ家族園 管理運営業務委託料	11,038	11,038	11,038	16,547
	再算定による 増加額※1	-	-	-	5,509
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	527	6,319	-	-
	その他	23,532	14,970	27,300	13,558
②支出		58,677	51,567	63,493	53,926
差引 (①-②)		△2,041	△3,964	30	△5,918

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、  
収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額したものの。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定  
に基づいて減収分を補填したものの。

決算書 (P198～P199)	3款1項7目 リゾートセンター費	所管課等	福祉課
事業名	くるみ家族園管理運営費		

○目標達成状況

施設の円滑な運営及び施設設備の適切な維持管理を行った。

**【事業の成果】**

市民に憩いの場を提供することにより、心身のリフレッシュと健康増進に寄与することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

施設の老朽化が進んでおり、各種設備の状況を把握し、計画的に設備更新等を行う必要がある。

**【執行残額について】**

○入札差金

・修繕料 1,485

○その他

・委託料、土地借上料の端数残 398

(単位：千円)

決算書 (P200～P201)	3 款 2 項 1 目 児童福祉総務費	所管課等	すこやかなくらし包 括支援センター
事業名	子どもの育ち支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,222	14,290	5,924	3		53 (譲入)	8,310
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,932					4,932

**【目的】**

関係機関と連携して子どもの虐待を予防するなど、複合的な課題を抱える家族を支援し、子どもがすこやかに育まれる環境を整備する。

## 令和 3 年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

1 子どもの虐待予防推進事業 11,343

## ○令和3年度目標

- ・児童相談所等の関係機関との連携の下、子どもの虐待の早期発見に努め、早期支援につなげる。
- ・継続的な見守り支援を通して、保護者に寄り添い、子どもの虐待を未然に防ぐ。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と児童虐待の現状や取組状況を共有するとともに、連携体制について確認した。
- ・虐待の通告があった際は、保育園や学校、児童相談所等の関係機関と連携し、時機を逸することなく対応した。
- ・市内の高等学校や企業主導型保育園等の職員を対象に、「子どもの虐待防止ハンドブック(ダイジェスト版)」を配布するとともに、虐待対応研修を実施した。
- ・保育園や小中学校等の管理職を対象に、通告後の保護者対応に関する虐待対応研修を実施した。
- ・保育園の保護者や、民生委員・児童委員等を対象に、子どもの虐待予防出前講座を開催した。(21回開催、参加者数549人)

## &lt;虐待受理数・被虐待児数・対応延べ件数&gt;

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		うち新規		うち新規		うち新規
虐待受理数(世帯)	265	70	289	71	299	59
被虐待児数(人)	561	155	599	148	638	141
対応延べ件数(件)	4,284		4,518		4,154	

※主な対応：家庭訪問・面談、個別ケース会議、電話相談など

決算書 (P200～P201)	3款2項1目 児童福祉総務費	所管課等	すこやかなくらし包括支援センター
事業名	子どもの育ち支援事業		

○目標達成状況

- ・虐待の疑いがある事案については、保育園や学校、児童相談所等と連携し、早期発見、早期支援につなげたほか、虐待対応研修等を実施し、保育園や小中学校等の職員の資質向上を図った。
- ・子育てや生活に負担感のある保護者に対し、定期的に電話や訪問を行うなど、見守り支援を続けることで虐待の未然防止を図った。

2 すこやかな育ち総合支援事業 2,947

○令和3年度目標

- ・教育委員会等の関係機関との連携の下、子どもの発達特性や世帯の状況に応じた支援を行う。
- ・相談支援ファイル「わたしのきろく」について、広く周知するとともに、福祉サービス利用時や進学時等での活用を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・複合的な課題を抱える家族については、臨床心理士や社会福祉士、相談員が丁寧に状況を確認し、関係機関と連携しながら必要な支援につなげた。
- ・保育園の園長や小中学校の特別支援コーディネーターが集まる機会において、相談支援ファイル「わたしのきろく」の活用方法について説明した。

○目標達成状況

- ・思春期の子どもの特徴や接し方について、広報で周知するとともに、保育園や学校のほか、教育委員会や医療機関等と連携しながら、子どもの発達特性や世帯が抱える課題など様々な相談に応じ、必要な支援につなげた。
- ・相談支援ファイル「わたしのきろく」の活用について、相談支援専門員が集まる連絡会で周知したほか、こども発達支援センターや小中学校で相談支援ファイルを配布し、活用を促した。

**【事業の成果】**

児童相談所等の関係機関と連携し、広く市民に児童虐待の現状を示しながら、虐待の未然防止と早期発見、早期支援に取り組むとともに、子育てに不安を抱える保護者の継続的な見守り支援を行うことにより、子どもがすこやかに育まれる環境を整えた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

広報による周知や子どもの虐待予防出前講座の取組を通して、地域全体の虐待防止に対する認識を高めていく。

**【執行残額について】**

○その他

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や会議の開催方法が変更になったことによる普通旅費の残 271
- ・児童発達支援専門員を任用することができなかったことによる報酬等の残 3,739
- ・現業会計年度任用職員報酬、社会保険料等が見込みを下回ったことによる残 922

(単位：千円)

決算書 (P212～P215)	3款2項6目 こども発達支援センター運営費	所管課等	すこやかなくらし包括支援センターこども発達支援センター
事業名	こども発達支援センター事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,434	19,332				8,837 (繰入)	10,495
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,102				3,102	

## 【目的】

発達に遅れ等のある子どもへの療育や子どもの成長や発達に応じた保護者への支援を通して、子どものすこやかな育ちを育む。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

1 児童発達支援事業 18,056

## ○令和3年度目標

新たに実施する保育所等訪問支援を通して、障害のある子どもが保育園等における集団生活に適応していくための環境を整える。

## ○実施内容、これまでの経過等

(1) 国の制度に基づく児童福祉サービスとしての事業

- ・相談支援として、子どもの成長の状況を確認しながら、支援利用計画を作成し、適切なサービスの提供につなげた。
- ・児童発達支援として、子どもの特性に合わせた療育支援(親子療育、個別・小集団療育)を行った。
- ・保育園等を訪問し、子どもの様子を確認しながら、子どもの特性に合わせた支援について保育園等の保育士と協議し、実践につなげた。

<利用児童数・延べ件数>

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談支援	利用児童数(実人数・人)	53	49	42
	延べ件数(件)	153	187	157
児童発達支援	利用児童数(実人数・人)	42	56	50
	延べ件数(件)	510	771	647
保育所等訪問支援	利用児童数(実人数・人)	-	-	11
	延べ件数(件)	-	-	110

決算書 (P212～P215)	3款2項6目 こども発達支援センター運営費	所管課等	すこやかなくらし包括支援センターこども発達支援センター
事業名	こども発達支援センター事業		

(2) 市独自事業

- ・子どもの発達に不安や悩みを抱える保護者への相談支援を行うとともに、発達に遅れ等のある子どもへの療育支援を行った。
- ・保育士や臨床心理士がチームとなって市内の保育園等全園を訪問し、気になる子どもの様子を確認しながら助言等を行った。
- ・休日相談会を実施し、支援が必要な子どもを療育支援等につなげた。

<利用児童数・延べ件数>

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
発達相談	利用児童数（実人数・人）	551	507	562	
	延べ件数（件）	1,634	1,310	1,619	
療育支援	親子療育	利用児童数（実人数・人）	26	31	32
		延べ件数（件）	737	689	885
	個別・小集団療育	利用児童数（実人数・人）	404	334	325
		延べ件数（件）	6,156	4,936	4,872
保育園等巡回相談	実施件数（件）	177	149	142	
休日相談会	実施回数（回）	2	1	1	
	参加親子	5組（14人）	6組（12人）	3組（6人）	

○目標達成状況

保育所等訪問支援により、障害のある子どもが通う保育園等を定期的に訪問し、集団生活に適応していくための環境を整えた。

2 一時保育事業 1,139

○令和3年度目標

子どもの特性に応じた配慮を行い、一時保育中の事故やけがを防止する。

○実施内容、これまでの経過等

こども発達支援センターを利用する未就園児を対象に一時保育を実施し、保護者の負担軽減を図った。

<利用実績>

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用児童数（実人数・人）	8	8	8
利用延べ児童数（人）	48	59	61

○目標達成状況

子どもの特性を把握した上で一時保育を実施し、事故やけがを防止することができた。

決算書 (P212～P215)	3 款 2 項 6 目 こども発達支援センター運営費	所管課等	すこやかなくらし包括支援センターこども発達支援センター
事業名	こども発達支援センター事業		

### 3 すこやかな子どもの育ちのための親支援 137

#### ○令和3年度目標

- ・「基本的な親子コミュニケーション支援」を実施する保育園等を増やす。
- ・「丁寧な親子コミュニケーション支援」を実施し、保護者が子どもの発達特性に合わせた関わり方を学び、家庭で実践することができるようにする。

#### ○実施内容、これまでの経過等

##### (1) 「基本的な親子コミュニケーション支援」

##### ① 乳幼児健康診査等における健康教育

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、人数の多い会場については、集団による健康教育ではなく、対象となる子どもの状況に合わせた個別教育を行った。

<乳幼児健康診査等の実施状況>

区 分		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
すくすく赤ちゃんセミナー		30回	596人	25回	394人	30回	426人
健康診査	3か月児	50回	1,104人	48回	1,122人	48回	1,069人
	1歳児	50回	1,105人	43回	1,154人	48回	1,079人
	1歳6か月児	50回	1,117人	48回	1,210人	48回	1,156人
	2歳児	50回	1,173人	46回	1,198人	48回	1,159人
	3歳児	50回	1,256人	49回	1,298人	48回	1,228人

##### ② 保育園・幼稚園等における学習会（対象：年少児の保護者等）

保育園等の保護者参観時において、子どもの行動の特徴や年齢に応じた対応を学ぶ学習会を実施した。

<保育園等の実施状況>

区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実施園	参加数	実施園	参加数	実施園	参加数
公立保育園	39園 (40園中)	605家族	38園 (38園中)	571家族	38園 (38園中)	520家族
私立保育園	14園 (17園中)	272家族	12園 (17園中)	206家族	12園 (17園中)	177家族
国公立幼稚園	2園 (2園中)	36家族	1園 (2園中)	5家族	1園 (2園中)	4家族
私立幼稚園 (認定こども園)	4園 (9園中)	239家族	1園 (9園中)	18家族	3園 (10園中)	46家族

決算書 (P212～P215)	3款2項6目 こども発達支援センター運営費	所管課等	すこやかなくらし包括支援センターこども発達支援センター
事業名	こども発達支援センター事業		

(2) 「丁寧な親子コミュニケーション支援」

こども発達支援センター利用児や支援を要する小学校低学年の児童の保護者等を対象に、子どもの特性に合わせた関わり方を学ぶ学習会や、グループワークを実施した。

<丁寧な親子コミュニケーション支援の実施状況>

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実施回数	延べ参加人数	実施回数	延べ参加人数	実施回数	延べ参加人数
就学前グループ	4回	28人	4回	33人	3回	22人
就学後グループ	4回	12人	4回	25人	3回	16人
前年度参加者 フォローアップ	2回	16人	2回	13人	2回	20人
修了生交流会	1回	7人	1回	7人	1回	8人

(3) 子どもを支援する保育士等の職員向け研修会

① 親子コミュニケーション支援に関する研修会

基本的な親子コミュニケーションの目的や実施方法について学ぶため、庁内関係課及び市内の保育園等の職員を対象に、研修会を開催した。(実施回数：2回)

② すこやかな子どもの育ち支援に関する研修会

障害の特徴や子どもへの関わり方を学ぶため、保育士や学校の教員等を対象に、発達障害の専門医による研修会を開催した。(実施回数：2回)

○目標達成状況

- ・「基本的な親子コミュニケーション支援」については、保育園等の未実施園に取組の必要性を説明し、実施園を増やすことができた。
- ・「丁寧な親子コミュニケーション支援」については、保護者が講座で学んだ子どもとの関わり方などを実践し、「子どものかんしゃくが減った」「子どもとの良好な関わりが増えた」などの声が聞かれた。

【事業の成果】

保育園等との連携により、発達に遅れ等のある子どもに対し必要な支援を行ったほか、発達等に不安を抱える保護者の相談に応じ、子どものすこやかな育ちを支援した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

保育所等訪問支援の推進を図るため、保育園等へ周知・啓発を行っていく。

【執行残額について】

○その他

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等の開催方法が変更になったことによる普通旅費の残 366
- ・現業会計年度任用職員報酬等が見込みを下回ったことによる残 2,736



(単位：千円)

決算書 (P214～P215)	3款3項1目 生活保護総務費	所管課等	福祉課
事業名	保護事務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,061	21,547	7,721	6			13,820
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	514		276		238	

**【目的】**

生活保護法に基づき、被保護者の困窮の程度に応じた必要な保護を行う。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

被保護者への個々の適性に配慮した就労支援などのケースワークを通して、早期の経済的、社会的な自立を支援する。

被保護者への健康診査受診勧奨、医療機関の受診勧奨を通して、生活習慣病などの発症及び重症化の予防につなげる。

## ○実施内容、これまでの経過等

## 1 面接相談員の雇用 2,879

## (1) 実施内容

面接相談員1人を配置し、生活の困り事や悩み事を抱える人の問題や課題を把握、整理しながら相談業務を行い、生活保護に係る制度説明、他法・他施策の活用や生活困窮者自立支援事業との連携など、相談者の状況に応じた支援に取り組んだ。

## (2) 相談実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談延べ件数(件)	426	515	416

## 2 適正化事業 13,880

## (1) 実施内容

- ・医療扶助費の適正化を図るため、医療事務有資格者による診療報酬明細書等点検業務や、健康づくり推進課との連携による健康診査の受診勧奨等を実施した。
- ・社会福祉主事資格取得のための通信課程の受講や、各種研修会などの参加を通して、職員の資質向上を図った。

決算書 (P214～P215)	3款3項1目 生活保護総務費	所管課等	福祉課
事業名	保護事務費		

(2) 事業実績

<診療報酬明細書等点検実績>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
過誤調整件数(件)	223	187	185
効果額(千円)	7,779	12,552	6,598

<健康づくり推進課との連携による健康診査受診勧奨結果>

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被保護者数(人)	1,252	1,222	1,249
受診者数(人)	171	83	66
受診率(%)	13.7	6.8	5.3

※被保護者数は、年度末の数値

3 被保護者就労支援事業 4,788

(1) 実施内容

- ・就労支援員2人を配置し、稼働能力のある被保護者の早期自立に向けて、個々の適性に沿った求職活動の相談・指導を実施した。
- ・社会的・経済的自立に向けて必要となる知識・技術等の習得や自立意識高揚の取組として、被保護者就労準備支援事業を実施し、生活能力や就労能力を高めつつ、就労意欲の喚起を図り、自立した生活が送れるよう支援した。

(2) 支援実績

相談件数が増加する中、稼働能力のある被保護者に対し、就労支援員が就職活動の相談・支援を行った結果、115世帯の就労収入が増加した。

○目標達成状況

- ・全ての相談者について、それぞれの状況に応じた支援を行った。
- ・嘱託医からの指導・助言を受けながら、医療事務有資格者によるレセプト点検や、ケースワーカーによる健康診査の受診勧奨を通して、医療扶助費の適正化を図った。
- ・診療報酬明細書等点検員による明細書の再審査により、6,598千円の扶助費の返戻効果があった。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により各種研修が中止になる中、保護業務を円滑に進めるため内部研修を強化するなど、ケースワーカーの資質向上を図り、面接相談や就労支援などに取り組んだ。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生活保護費の約5割を占める医療扶助費の適正化のため、健康づくり推進課と連携し被保護者の健診受診率を上げるとともに、健康診査の受診データ、レセプト管理システムを活用し、生活習慣病の重症化予防を継続する。
- ・稼働能力のある被保護者が早期に就労し自立した生活に戻れるよう、本人の適性や課題を把握しながら、適切な就労支援を継続する。

決算書 (P214～P215)	3款3項1目 生活保護総務費	所管課等	福祉課
事業名	保護事務費		

**【執行残額について】**

○事業未実施

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による市外訪問、担当者会議、研修会が中止となったことによる普通旅費等の残 276

○その他

- ・医療費審査支払委託料等が見込みを下回ったことによる残 238

(単位：千円)

決算書 (P214～P217)	3款3項2目 扶助費	所管課等	福祉課
事業名	扶助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,831,088	1,798,198	1,338,573	27,449		32,013 (繰入)	400,163
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	32,890				32,890	

## 【目的】

生活保護法に基づき、被保護者に対して生活扶助費等を支給し、最低限度の生活を保障するとともに自立に向けた支援を行う。

## 令和3年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・生活保護扶助費の支給状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	金額	1月当たり 人数(人)	金額	1月当たり 人数(人)	金額	1月当たり 人数(人)
生活扶助費	485,195	1,021	478,928	982	497,433	1,007
住宅扶助費	187,814	776	191,264	765	204,440	812
教育扶助費	6,553	59	6,882	57	6,579	58
介護扶助費	76,185	243	70,354	235	80,258	240
医療扶助費	853,445	970	797,353	926	890,455	964
出産扶助費	971	2	1,024	2	862	3
生業扶助費	3,645	30	2,960	18	3,314	20
葬祭扶助費	1,389	9	1,435	6	1,621	10
施設事務費	125,834	60	121,443	58	112,286	55
就労自立給付金	1,270	20	673	16	650	17
進学準備給付金	1,100	5	700	3	300	1
合計	1,743,401	-	1,673,016	-	1,798,198	-

※人数は各年度の月平均値(ただし、出産扶助費、葬祭扶助費、就労自立給付金、進学準備給付金は年間実数)

決算書 (P214～P217)	3款3項2目 扶助費	所管課等	福祉課
事業名	扶助費		

・被保護世帯数及び被保護者数 (年度末現在)

区分	被保護世帯数(世帯)	被保護人員数(人)
令和元年度	969	1,252
令和2年度	978	1,270
令和3年度	1,006	1,295

・世帯類型別の被保護世帯数 (単位：世帯)

区分	高齢者	母子	障害者	傷病者	その他	合計
令和元年度	475	42	172	131	149	969
令和2年度	464	36	174	163	141	978
令和3年度	467	39	169	188	143	1,006

【事業の成果】

被保護者に対して生活扶助費等を支給したほか、自立に向けた支援を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

医療扶助費及び介護扶助費の適正化を図るため、健康維持、生活習慣病の重症化予防対策を継続する。

【執行残額について】

○その他

- ・生活保護扶助費が見込みを下回ったことによる残 32,890

(単位：千円)

決算書 (P216～P217)	3款4項1目 災害救助費	所管課等	高齢者支援課
事業名	要援護世帯等除雪事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
40,950	37,759		18,879			18,880
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,191				3,191	

**【目的】**

自らの力で除雪することが困難なひとり暮らし高齢者などの要援護世帯に対し、除雪作業に要する費用の一部を支援し、住家の倒壊等による多数の者の生命又は身体への危害を避ける。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

・新潟県災害救助条例の適用

中郷区：令和4年2月22日から令和4年3月3日まで適用

牧区、板倉区：令和4年2月23日から令和4年3月4日まで適用

安塚区、大島区、清里区：令和4年2月24日から令和4年3月5日まで適用

<救助世帯数>

救助世帯数	助成額(円)	1世帯当たりの平均利用額(円)
491	37,759,046	76,902

**【事業の成果】**

屋根や玄関前、その他の日常生活に不可欠な場所における除雪費用の一部を助成することで、自らの力で除雪することが困難なひとり暮らし高齢者など、要援護世帯の住家の倒壊を防ぎ、市民の生命又は身体への危害を避けることができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

発災時に速やかに要援護世帯に支援が行われるよう体制を整え、安全で迅速な救助が行われるよう備える。

**【執行残額について】**

○その他

・救助世帯数が見込みを下回ったことによる残 3,191

(単位：千円)

決算書 (P218～P219)	4款1項1目 保健衛生総務費	所管課等	地域医療推進室
事業名	地域バス運行事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,231	3,966					3,966
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	265			43	222	

**【目的】**

無医地区である吉川区川谷地区の住民の通院を支援することにより医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童・生徒の通学手段を確保する。

## 令和3年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和3年度目標

川谷地区周辺に暮らす高齢者や子どもたちの移動手段を確保し、安全・安心な生活を維持する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・対象地区 吉川区川谷、源地区（通院は川谷地区のみ）
- ・対象地区人口 48人（うち児童・生徒の地域バス利用者数：小学生1人、中学生1人）
- ・運行車両 10人乗りワゴン車
- ・運行形態 ①通常運行（定時便） 1日2回  
②通常運行（デマンド便） 1日9回（予約制の運行）  
※①②について土曜、日曜、祝日及び8/15、8/16、12/29～1/3は運休  
③臨時運行（学校行事等が運休日に実施される場合や部活動後の下校）
- ・運行方法 株式会社みなもとの郷へ運行業務委託 3,580

決算書 (P218～P219)	4款1項1目 保健衛生総務費	所管課等	地域医療推進室
事業名	地域バス運行事業		

<運行実績>

区 分		令和2年度	令和3年度	比較増減
運行数(回)		766	778	12
通常運行(定時便)		474	482	8
通常運行(デマンド便)		228	222	△6
臨時運行		64	74	10
利用者数(延数)		928	815	△113
通常運行(定時便)	通院	39	13	△26
	通学	555	477	△78
	小計	594	490	△104
通常運行(デマンド便)	通院	198	163	△35
	通学	72	87	15
	小計	270	250	△20
臨時運行	通学	64	75	11
1回平均(人)		1.2	1.0	△0.2

○目標達成状況

定時便を計画どおり運行するとともに、デマンド便及び臨時運行により個別ニーズにも対応できた。

【事業の成果】

要望に沿った利便性の高いデマンド便の運行により、無医地区の住民の医療不安の軽減につなげたほか、通学に利用する朝、夕の1日2回を定時便、学校行事等が運休日に実施される場合や部活動後の下校を臨時運行で対応したことにより、児童・生徒の利便性を高めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

定時便及びデマンド便の通院利用者数は、前年度から減少していることから、利用状況を確認しつつ地域の声を聴き、必要に応じて運行方法、時間等の見直しを行う。

【執行残額について】

○入札差金

・地域バス運行委託料 43

○その他

・燃料費、手数料、備品修繕料等が見込みを下回ったことによる残 222